

岡崎嘉平太記念館



だより

Vol. 39

岡崎嘉平太記念館 令和5年度夏休みミニ企画展
日中国交正常化50周年記念関連展示

日中国交正常化とパンダ来日（上野動物園）

1972年の日中国交正常化を記念して中国から日本へ2頭のパンダ（カンカンとランラン）が贈られることになりました。日中友好のシンボルとして招聘されたパンダを日本に輸送する際に担当したのが岡崎嘉平太氏の長男の岡崎彬氏でした。

開催中

令和5年8月末迄



カンカン



ランラン

写真

岡崎嘉平太氏の
アルバムより

彬さんが関わった“パンダ輸送大作戦”

NHKBSプレミアム「アナザーストーリー」
運命の分岐点『パンダが来た！～日本初知られざる大作戦～』（2016年6月8日放送）
岡崎彬さんのインタビュー内容を要約して紹介

1972年に日中国交正常化が実現。その記念として中国から日本へパンダ2頭（カンカンとランラン）が贈られることが決まりました。同年の10月、パンダの輸送を担当したのが彬さんでした。

当時43歳の彬さんは、日本航空に勤務。航空貨物のエキスパートであり動物輸送の第一人者として様々な動物を空輸していました。そこで白羽の矢が立ち「パンダ輸送の責任者」として準備を開始します。

ただ“超希少動物”であり、いわば“国賓”でもあるパンダ、しかも当時殆ど輸送例のないパンダのため「神経をすり減らすような苦労と緊張」があったそうです。

パンダの好む食べ物や個体の大きさなどを一から調べ、唯一パンダの空輸経験のあるロンドン動物園にも赴きますが、同動物園のパンダはマスコミからのストレス等により既に亡くなっていました。そこで彬さんは光や音に敏感なパンダの習性を知り、輸送計画を練り上げます。

そして10月28日、パンダを迎えるため、機材を飛行機に積み込んで羽田空港を出発、同日北京空港に到着。ちょうどお昼頃になり、彬さん以外のスタッフが休憩に入った時、パンダが北京空港にやってきたのでした。その際、中国側の担当者に促され一瞬だけ檻から出たパンダを抱っこし、彬さんはパンダを“日本人で初めて抱っこした人物”になったのでした。

日本への輸送中もパンダの側から片時も離れることはなく、時にはおやつとして日本から持参した柿を与えたりもし、様子を見続けました。

同日午後6時50分、パンダを乗せた飛行機が羽田空港に到着、“恐ろしいほどのマスコミ”が押しかけていましたが、彬さんはロンドン動物園から得た教訓をもとに、パンダの檻に光を遮るカーテンを設置し（これが後々までパンダ輸送の必需品となりました。）、これによりパンダへのショックは殆どなかったそうです。

この後彬さんは、検疫を済ませたパンダ2頭を空港から見送り、空港内で見たニュースで無事上野動物園に着いたことを知り、安堵したそうです。

これにより“パンダ輸送大作戦”は無事終了しました。

なお、この番組では、パンダ来日の1ヶ月前に調印された日中共同声明にいたるまでの緊迫したやりとりや、上野動物園でパンダの飼育に実際に携わった獣医師の奮闘も紹介されました。

第17回 嘉平太が愛したふるさと岡山写真展開催

岡崎嘉平太氏が愛した豊かな自然、心なごむ風景の写真を通じ、岡山の良さを再認識する機会にしたいとお願いを込めて始めた写真展も17回目を数え、今回も岡山県内外から185点ものご応募をいただきました。岡山県美術展覧会(県展)審査員の長瀬正己氏と日本画家の森山知己氏、(公財)岡山県郷土文化財団常務理事、岡崎嘉平太記念館館長による厳正な審査の結果、下記のとおり素晴らしい16点の入賞作品が決まりました。令和5年4月16日(日)から6月18日(日)まで同記念館企画展示室で、7月18日(火)から23日(日)まで岡山県天神山文化プラザ第一展示室小室にて、ご応募いただいた全作品を展示いたしました。

入賞作品



【最優秀賞】 田口 昌子
「春まぢか」



【優秀賞】 陰山 亜紀子
「列車と橋梁に魅せられて」



【優秀賞】 吉田 昌康
「山里のまつり」

【審査員特別賞】

神崎 由子 北川 隆司
下須賀 誠

【入賞】

赤澤 英二 池本 茂豊
小山 憲雄 最相 政美
斎藤 孝子 豊福 義一
中山 勝雄 横田 和子
横田 俊司 渡辺 稔

(敬称略・順不同)

審査員の先生方からいただいた、最優秀賞、優秀賞に選出された作品についての講評をご紹介します。

- 全体** 応募作品は回を重ねるごとに全体がハイレベルに整ってきた。どの作品が入賞してもおかしくない力作揃いではあるが、逆に、ずば抜けて目を引く作品が少なかった。良い写真を撮ろうとすると、テクニックが前面に出てしまい、懲りすぎると写真がおもしろくなくなってしまふ。肩肘張らず、自由な発想で、感動を写真で表現するテクニックを磨いて欲しい。
- 最優秀賞** コロナ禍、被写体としてネコは大人気であった。身近にいて比較的簡単に撮ることができるが、ネコという思い通りにならない被写体の一瞬の表情や動きを捉えようと思うと、その奥深さが魅力となったのかも知れない。春を呼ぶ水仙とネコ。穏やかな春の日差しの中で、コロナの終息の兆し等、色々な意味での“春”を感じる写真である。この作品は、ただかわいいネコの写真というだけでなく、構図・光を計算して写真的にも技術的にもクオリティが高い作品である。心癒やされるこの風景に、強く引きつけられた。
- 優秀賞(陰山)** 岡山県総社市から広島県福山市を結ぶ井原鉄道。高梁川橋梁上を、夕焼けが刻々と沈む中、たった一両編成の電車が大きくカーブを描きながら、高梁川を渡りきる様を、シャッタースピードを駆使して、電車の残像をダイナミックに残すという労作。この瞬間を捉える為に何時間、或いは何日も通ったのではないか。
- 優秀賞(吉田)** 「わっしょい！わっしょい！」神輿を担ぐ子どもたちの威勢のいい掛け声が聞こえるようだ。新型コロナウイルス感染症拡大で、おそらく途絶えていたであろう山里の小さな祭りがようやく復活か。神輿を担いだ思い出とともに、どうかふる里の温かさを忘れないで欲しい…レンズ越しに、そんな作者の優しい願いを感じる作品である。自然光を上手く使い、より自然な深みのある色合いに仕上げている。



審査風景 令和5年3月24日(金)
長瀬正己先生・森山知己先生
岡山県郷土文化財団常務理事
岡崎嘉平太記念館長



表彰式風景
令和5年5月13日(土)



岡崎嘉平太記念館会場



岡山県天神山文化プラザ会場

第17回 嘉平太が愛したふるさと岡山写真展 入賞作品展

「総社市総合文化センター」にて開催

令和5年8月5日(土)～20日(日) 市民ギャラリー
休館日/毎週月曜日 開館時間/8時30分～17時15分
(最終日は16時まで)

※応募作品の中から、入賞作品に加え総社市で撮影された作品も展示します。

「岡山県自然保護センター」にて開催

令和5年9月23日(土)～10月25日(水)
センター棟スロープ

休館日/毎週火曜日 開所時間/9時～16時30分

2021年度 岡山県自然保護センター写真展

令和5年2月1日(水)から27日(月)まで開催。和気町にある岡山県自然保護センターが毎年、「自然保護センター内」で見つけた動植物や、それをみつめる人々など、自然からのメッセージが感じられるような作品を広く募集した写真展を開催しており、入選、入賞に選ばれた26点を紹介しました。

嘉あちゃんの部屋にて



第15回

嘉平太が愛したふる里の子ども作品展

令和5年2月18日(土)から3月5日(日)まで開催。吉備中央町内全小学校10校の主に6年生の作品を一堂に展示しました。小学校最後の思い出に制作した習字、備前焼、木彫りのアルバムなど、力作88点が並びました。

企画展示室にて



令和5年度 岡崎嘉平太記念館 わくわく科学塾

令和5年6月29日(木)、サイエンスインストラクターの内田正夫先生にご協力いただき開催。町内全10小学校の児童約180人が集まり、段ボール箱に穴を開けた「空気砲」の実験や、風を強力に吹き出すブローワーを使って風船やカップ麺を安定して浮かせるベルヌーイ(流体科学)の実験などを楽しく見学しました。

3階大ホールにて



横田素行絵画展

令和5年6月29日(木)から7月9日(日)まで開催。ペン画に魅せられて15年。会場には、吉備中央町の風景や、5月下旬から約1ヶ月間滞在したパリの町並み、美術館など、20点が並びました。

嘉あちゃんの部屋にて



令和4年度 第2回 岡崎嘉平太記念館運営協議会

令和5年2月7日(火)に開催
記念館企画展示室にて

令和5年度 第1回 岡崎嘉平太記念館運営協議会

令和5年6月6日(火)に開催
きびプラザ内第一会議室にて

令和4年4月1日、地元自治体、関係機関・団体、岡崎氏と関わりがあった県内企業等から10名が構成員となる岡崎嘉平太記念館運営協議会を立ち上げました。構成員の皆様からの幅広いご意見を取り入れて、開かれた記念館を目指しています。



令和5年度 夏休み企画 絵手紙をかく会

令和5年7月26日(水)に開催。吉備高原児童クラブの皆さんを中心に約70人が参加しました。大和公民館「絵手紙クラブ」の先生方に教わりながら、野菜や花などを題材に思い思いの作品を完成させました。

第一会議室にて



作品展示風景

作品展示日程

- 開催中～8月31日(木) きびプラザ記念館前通路
- 令和5年9月1日(金)～9月20日(水) 大和郵便局(吉備中央町)

『岡崎嘉平太さんとの思い出』募集しています

皆様から岡崎嘉平太氏との思い出を募集いたします。お寄せいただいたエピソードや写真の一部は当館が主催する行事等で紹介させていただくこともあります。岡崎嘉平太記念館ホームページの『岡崎嘉平太さんとの思い出』募集中」フォーム、又はFAX・郵便等でもお受けいたします。

新副館長ご挨拶

令和5年4月1日から副館長を務めております松尾博信です。岡山県を平成29年3月末で退職し、医療関係の社会福祉法人に再就職し、この春から記念館に非常勤でお世話になっています。岡山県では勤続37年のうち異動箇所は20箇所を超え幅広く様々な分野の経験を積みましたが、残念ながら文化行政は経験がなく、ここに来る前、嘉平太先生についての知識は名誉県民であること、全日空の社長をされたこと、日中の交流に尽力されていたことぐらいでした。



先生は、学生時代に中国の留学生との交わりから中国に深い関心を寄せられ、生涯を通じて日中の友好と共栄の理想を願って尽力され、第2次世界大戦後の日中断絶の時代から国交正常化の実現に大きく貢献されました。また、戦後、数々の企業の再建に努められるとともに、新しい技術を開発しないかぎり、日本の未来はないと、新しい技術に関心を寄せられ、未踏の世界への若い人たちの取組みに期待しておられました。

岡崎嘉平太記念館は、先生の生涯とその思想、多くの功績を次の時代の人々に永く伝えるための顕彰記念事業として、先生の生誕の地に開館し遺品を中心に収蔵展示しており、郷土の誇りである先生を少しでも多くの方々に知っていただくよう、効果的な記念館の運営に努めてまいります。

昨今、米中対立、中口の接近、インド太平洋地域での安全保障、台湾問題等、東アジア地域での緊張度が増しており、先生や周首相がご存命であればと思わずにいられず、今後の地域の平和を願うばかりです。

来館してくれました

吉備中央町内の豊野小学校4年生と大和小学校3・6年生と高梁市立宇治小学校2～6年生の児童の皆さんや先生方が授業の一環で来館くださいました。学芸員による紙芝居や館内説明、クイズ等で学習した後、ANAオリジナルの紙飛行機を作って、きびプラザの広場で飛ばしました。当館では岡崎氏について子供達にしっかりと伝えていきたいと出前講座も含めて教育普及に努めています。



令和5年3月には岡山県教職員退職互助会吉備中央班の皆さん、5月には放送大学(岡山学習センター)開講講座「近現代日中交流と岡山」受講生の皆さん、6月にはANA総合研究所の皆さん、7月には円城公民館企画「へそ8パスできびプラザに遊びに行こう!」参加者の皆さんが来館くださいました。



これからの催し

参加者募集中!

岡崎嘉平太がめざした世界平和への道を考える 第2回講演会

令和5年11月18日(土) 13:30~16:00(予定)

きびプラザ 3階大ホール 参加無料

講師：平子 裕志氏
ANAホールディングス(株)
取締役副会長

講師：末光 茂氏
社会福祉法人旭川荘
理事長

令和5年度 秋の特別企画展
岡崎嘉平太と日中友好に尽くした人々 I
内山完造と高碓達之助
令和5年9月22日(金)~12月20日(水)
企画展示室

吉備高原公民館 文化祭(仮)

令和5年10月25日(水)~11月5日(日) 嘉あちゃんの部屋

吉備中央町社会福祉協議会
令和5年度 共同募金活動強化事業
共同募金活動展示(仮)
令和5年10月1日(日)~10月16日(月)
嘉あちゃんの部屋

2022年 岡山県自然保護センター写真展
令和5年11月10日(金)~12月10日(日) 嘉あちゃんの部屋

編集・発行：岡崎嘉平太記念館

〒716-1241 岡山県加賀郡吉備中央町吉川4860-6 きびプラザ内

TEL 0866-56-9033 FAX 0866-56-9066

HP <https://www.okazaki-kaheita.jp> Eメール okmh@okazaki-kaheita.jp

